

議会だより



白河保育園入園式

3 月 定 例 会

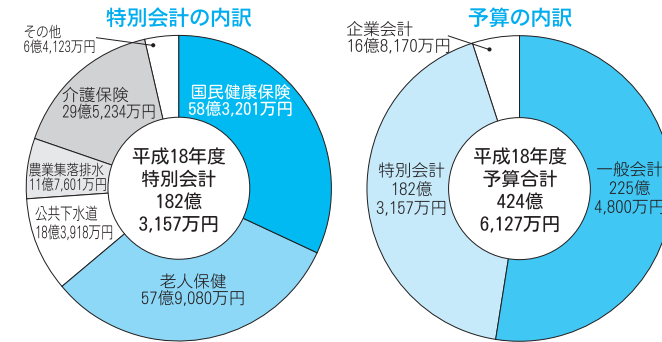
第 2 号
2006.4. 26

平成18年度当初予算	2.3P
各常任委員会の報告	4.5.6.7P
一般質問、総括質疑	8~15P
傍聴席からひとこと	15P

平成18年度 当初 予算の総額は424億6,127万円

新しい白河市が誕生し、3月定例会で平成18年度当初予算が決まりました。歳入、歳出の特徴について報告します。

なお、政治的判断を要する事業や新規事業については、6月補正予算以降において調整されます。審議内容については、各常任委員会報告（4～7頁）、一般質問・総括質疑（8～15頁）を参照してください。



左上円グラフ、表1のとおり、平成18年度の予算規模は全体で424億6127万円です。平成17年度旧4市村合計と比べまして、8億9457万円、2.2%増となりました。

一般会計では、11億4644万円、5.4%増となっていますが、その主な要因は、合併振興基金積立金8億円、旧白河市に一括算入し補正予算で計上していた広域市町村圏整備組合及び衛生処理一部事務組合に係る普通交付税算入額3億744万7千円です。これを除いた予算額は、前年度旧4市村合計と比べ、21億4055万3千円は、

べ、3899万8千円、0.2%の増となっています。

特別会計の当初予算額は182億3170万円です。前年度と比べ2億5816万円、1.4%の減となっています。そして、新たに大屋財産区、樋ヶ沢財産区、表郷クリニック、個別排水処理事業、土地造成事業等の特別会計が加わりました。

企業会計では16億8170

平成18年度の歳入は、景気回復の遅れから地方財政計画に見合う市税の伸びが見込めません。また、「三位一体の改革」の影響により普通交付税、臨時財政対策債ともに前年度を下回るなど厳しい状況にあります。

そのような中で、市債発行総額は37億3470万円、公債費の元金償還額は4億5722万円となっています。内訳は、一般会計で市債発行額は28

億1330万円、元金償還金は30億9142万円です。特別会計で8億2140万円と7億2727万円です。企業会計で1億円と2億3853万円です。

均衡ある発展を考慮した予算編成

合併後初めての当初予算というところで、白河市全体の均衡ある発展を念頭に、合併協定項目を尊重し、市民生活に密着した事業や将来のまちづくりに向けたことのできない施策を盛り込んだ予算編成であることがうかがえます。主な事業は表2をご覧ください。

表1 平成18年度白河市当初予算 (単位:千円)

区分	平成18年度	
	旧4市村合計	白河市
一般会計	21,401,555	22,548,000
特別会計	18,489,735	18,231,572
国有林野払受費	194	190
教育財産	1,052	1,018
小田川財産区	1,245	1,129
土地取得	8,170	8,015
簡易水道事業	308,112	324,631
国民健康保険	5,512,269	5,832,010
地方卸売市場	121,402	22,081
老人保健	5,970,238	5,790,805
公共下水道事業	1,832,876	1,839,182
農業集落排水事業	1,305,831	1,176,014
市街地開発事業	17,490	廃止
介護保険	2,904,094	2,952,349
大屋財産区	-	248
樋ヶ沢財産区	-	733
国民健康保険表郷クリニック	91,223	180,639
個別排水処理事業	34,983	18,028
土地造成事業	380,556	84,500
企業会計	1,675,411	1,681,707
水道事業	1,584,036	1,590,336
工業用水道	91,375	91,371
合計	41,566,701	42,461,279

表2 本年度の主な事業

総務費	合併記念式典関係費 ㊦	281万6千円
	総合計画策定事業 ㊦	549万9千円
	国際交流関係事業	1,105万5千円
	情報管理事業	2億2,074万2千円
民生費	支援費制度による扶助費	4億3,544万9千円
	要介護高齢者介護奨励金	1,900万8千円
	敬老祝金支給事業	1,451万2千円
	地域包括支援センター事業	2,304万円
	児童扶養手当支給事業	2億5,089万3千円
	乳幼児医療費助成事業	1億5,838万1千円
衛生費	在宅当番医制事業	762万3千円
	資源回収奨励金	378万5千円
	合併処理浄化槽設置整備事業補助金	3,412万8千円
労働費	高齢者就業機会確保事業費補助金	987万8千円
農林水産業費	ふるさと農道緊急整備事業（一里段地区）	5,800万円
	元気な地域づくり事業交付金	2,145万4千円
	農村環境計画策定事業	250万円
	ともに育むうつくしま里づくり事業	330万円
	森林居住環境整備事業	1,500万円
商工費	中心市街地商業活性化事業	3,187万8千円
	観光イベント事業	200万円
	各庁舎まつり関係補助金	500万円
土木費	道路維持管理費	9,638万9千円
	臨時地方道整備事業（4路線）	5,776万3千円
	街灯設置費	580万円
	一般公共道路改良事業（10路線）	3億6,400万円
	街路事業（西郷塚目線ほか）	4億8,478万5千円
	八竜神団地建設事業	9,661万1千円
消防費	消火栓設置工事費負担金	463万5千円
教育費	英語指導助手招致事業	3,640万7千円
	児童・生徒用ヘルメット贈呈事業	234万2千円
	白河中央中学校床改修工事	2,400万円
	白河南部中学校建設事業	5億9,010万9千円
	スポーツ大会等運営補助金	480万円

表3 一般会計当初予算（性質別）歳出 (単位:千円)

区分	平成18年度		比較増減額	
	旧4市村合計	白河市		
義務的経費	11,116,343	11,036,445	48.95%	△79,898
人件費	5,054,331	4,730,030	20.98%	△324,301
扶助費	2,169,072	2,388,767	10.59%	219,695
公債費	3,892,940	3,917,648	17.38%	24,708
投資的経費	2,082,978	2,464,487	10.93%	381,509
普通建設事業	2,082,947	2,464,483	10.93%	381,536
補助	228,316	423,943	1.88%	195,627
国直轄事業負担金	25,865	24,495	0.11%	△1,370
単独	1,801,611	1,979,705	8.78%	178,094
県営事業負担金	27,155	36,340	0.16%	9,185
災害復旧事業	31	4	0.00%	△27
その他の経費	8,202,234	9,047,068	40.12%	844,834
合計	21,401,555	22,548,000	100.00%	1,146,445

左表3、円グラフ、表4をご覧ください。これは、歳出を性質別、目的別に比較したものです。

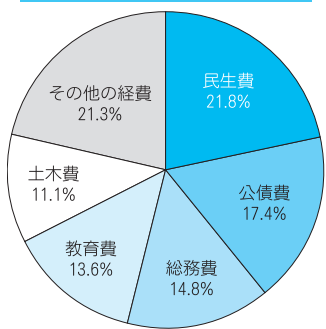
更なる財政健全化が必要

平成18年度の当初予算を性質別に見ると、義務的経費である人件費、扶助費、公債費の合計が全体で48.95%を占めています。前年度旧4市村合計と比べ0.7%の減となっています。具体的には人件費は、職員定数の抑制、特殊勤務手当の廃止等の行政努力の表れであり、年々人件費の予算額が減少しています。扶助費は

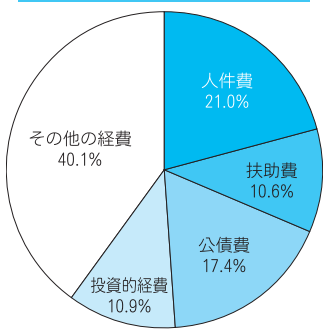
財政の健全化に向けた取り組みに引き続き、合併前の旧4市村の財政状況を把握し、比率、公債費関係の指標が高い状態にあることから、足腰の強い財政基盤を構築するため、将来の財政負担の要因となる地方債発行額に

留意するなど、引き続き財政健全化の取り組みを議会として求めています。

18年度歳出(目的別)



18年度歳出(性質別)



また、平成21・8%と大きく占めています。

発行額に

表4 一般会計当初予算（目的別）歳出の推移 (単位:千円)

款	平成18年度		前年度比	比較増減額
	旧4市村合計	白河市		
議会費	436,399	390,099	△10.6%	△46,300
総務費	3,063,643	3,343,862	9.2%	280,219
民生費	4,779,838	4,913,832	2.8%	133,994
衛生費	1,524,739	1,717,267	12.6%	192,528
労働費	56,133	43,172	△23.1%	△12,961
農林水産業費	1,157,055	1,221,730	5.6%	64,675
商工費	477,480	523,015	2.32%	45,535
土木費	2,473,029	2,498,371	1.0%	25,342
消防費	886,961	866,570	3.84%	△20,391
教育費	2,576,803	3,062,430	13.58%	485,627
災害復旧費	31	4	△87.1%	△27
公債費	3,915,855	3,917,648	17.38%	1,793
諸支出金	4	-	0.00%	皆減
予備費	53,585	50,000	0.22%	△3,585
合計	21,401,555	22,548,000	100.00%	1,146,445